令和８年度 中学校１年

「高志学」嶺南エネルギー研修

１１月４日（水）、１年生が嶺南エネルギー研修として、美浜原子力ＰＲセンター、美浜町エネルギー環境教育体験館「きいぱす」、若狭湾エネルギー研究センターの３つの施設を訪問しました。

美浜原子力ＰＲセンターでは、ＶＲゴーグルを使って、模擬的に美浜原子力発電所を上空から見学したり、原子炉格納容器や使用済み燃料プールを見学したりしました。また、原子力発電の仕組みや、エネルギーミックス、安全対策などについて講義を受けました。生徒たちからは、他の発電方法との発電コストの比較や、他国の原子力発電所との安全対策の比較などについての質問が出ていました。



きいぱすでは、直流電流と交流電流との違いや、交流電流の送電、電力需要と発電のバランス、省エネルギーについて、実験を通して学びました。生徒たちも実験に参加し、体験的にエネルギーについて学ぶことができました。



若狭湾エネルギー研究センターでは３つの研修を受けました。エネルギー研究センターでの取り組みについての研修では、陽子線を用いたがん治療研究やイオンビームによる農作物の品種改良など、様々な研究について学びました。水素分野の研修では、水素を使った次世代エネルギーについて、水素の発生や性質に関する実験を通して学びました。科学機器分野の研修では、電子顕微鏡でシャープペンシルの芯や蝶の鱗粉などを超高倍率で観察し、実際に電子顕微鏡の操作も体験しました。大学以外での理系の研究施設を初めて見学する生徒が多く、理系の研究者を志している生徒たちは目を輝かせて講演や見学に臨みました。

